

一般質問

高島病院の実態と 地域医療の現実



澤本 長俊 議員

問 非常に厳しい経営状況に陥っている高島病院。

経営改革するには、病院職員はもとより、関係職員全員の意識改革が一番大事だと考える。

そのためには、市長が先頭に立って取り組まなくてはならないと考える。

現在までも、いろいろ改善に向けて努力されてきたとは思いますが、本気度が欠けていたのではないかと。市長自ら、責任をもって「尻に火をつけて取り組まなくては、経営改革どころか、意識改革も出来ない」と考えるが、当局の考えはどうか？

答 病院改革室長

病院職員と共に病院の健全な経営に取り組めます。

病院経営の悪化は、近年では平成13年度からはじまり、平成17年度決算で単年度赤字3億5千万円。累積赤字は13億4千9百万円に上っています。

市の地場産業に対する 将来展望は？



山川 恒雄 議員

問

一、高島観光プロモーション事業に対して、

市は将来どのように位置付けられようとしているのか。観光振興協議会に、将来

営業開発室等の官の仕事も民間活力として委託する位の考えを持つべきと考える

が、市の考えを問う。

二、改正中心市街地活性化法の施行に伴い、

市内各中心市街地における活性化策の現状と、市の活性化計画と支援策を問う。

答 産業循環政策部長

一、将来の観光協会との

合併を見据え、当事業の展開に想定される障害等の解決を支援しつつ、観光振興

農地・水・環境保全向上対策事業とは？



施策の重要業務として、協議会は全ての観光事業の実行部隊と位置付けております。

二、本市の土地利用計画による市街地を関係団体と協働で新規基本計画の策定となり時間を要します。

国、県の商店街活性化推進事業が実施中であり、今後もちょうした事業を市としてできる支援をしたい。

問 農地・水・環境保全向上対策事業とは？

「事業に対して市としてどうしようとしているのか？」と聞いても明確な答弁がもらえなかった。」との市民の

農業の持続的発展と多面的機能の健全な発展を図るには、効率・安定的な農業構造の確立と農地・水・環境の保全や質的向上と共に、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進する必要から当事業を重要施策と位置づけ関係機関と連携協力し積極的に推進したい。

答 産業循環政策部長

農業の持続的発展と多面的機能の健全な発展を図るには、効率・安定的な農業構造の確立と農地・水・環境の保全や質的向上と共に、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進する必要から当事業を重要施策と位置づけ関係機関と連携協力し積極的に推進したい。

◆高島市の人事管理について

◆高島市の人事管理について

その他の質問

◆高島市の人事管理について

行財政の

バランスについて



井花 定樹 議員

問 国の政策の基本として「小さくて効率的な政府」を19年度以降も目指していくことは、高島市の財源の歳入割合を見て、大きな依存財源率を改善しなければならぬ中で、質問いたします。

一、合併後の公共事業について

①市内の道路事業の優先順位は？

②進めている事業は、市全体を見据えた事業とは思えないが、都市計画はどの様になつているのか？

③一般会計と特別会計事業は、地域バランスを考へる時、同じ位置づけで考へるべきでは？

二、歳入と歳出
①歳入では、市有遊



答 総務部長

合併後の公共事業は、道路改良や学校施設整備など、その大半が旧町村からの継続案件であり、緊急性や優先度に依り、計画的に促進しております。

②歳出では、直営の公共施設の職員は、なぜ報酬の高い管理職が必要か？
③19年度の予算規模、起債額は、財政改革の中で、どれ位か？

喫緊課題の財政健全化のため、市有遊休地の売却や市税等の収納促進に努めるとともに、人件費や物件費等の抑制等を図っております。公共施設への適確な職員配置、指定管理者制度の活用等を図る中で、平成19年度の予算規模は、長期財政計画においては245億円、起債額は24億円を見込んでいます。

生ゴミの堆肥化と『環境のまち高島』をアピールしよう



清水 鉄次 議員

問

一、17年度ゴミ処理費用に12億円かかっているが、削減する方法について。

①可燃ゴミの中の生ゴミが25%あり、これをリサイクルし堆肥化すべきであるが、いかがか。

②この生ゴミ堆肥化政策であるが、甲賀市方式の民間企業との連携、直営を含めて早急に進めるべきであるが、いかがか。

二、新エネルギー政策について世界的に原油が高騰しており、各施設の維持費が上がっているが、新エネルギーとして、風力発電を提案したい。風で電気を起こすそれを活用し、また市

産業循環政策部長

民に対して、全国に對して「環境のまち高島市」をアピールするためにも、新エネルギーに対して調査費を予算化してはどうか。

生ごみ減量は、ごみ処理経費削減に有効であり、市では、EM菌による生ごみ堆肥化に昨年度から取り組んでおり、12名の指導者が誕生しています。生ごみ対策には、これ以外にもコンポストや生ごみ処理機等で堆肥化されている家庭

もあり、多くの方策を模索していると認めます。生ごみ堆肥化システムを甲賀市方式のように民間企業のノウハウを活用した方法で行うこと等も踏まえ努力研究をしていきたい。新エネルギー政策の風力発電については、市においても大きな関心を抱いています。来年度において、自然エネルギーの利用を総合的に推進するため新エネルギービジョンの策定を検討していきたい。



EM菌による生ゴミリサイクル